

2023年5月号

ハノイ日本人学校 学校便り

令和5年5月 5日

## こころの道

# Nhan hieu Thông minh Khỏe mạnh



やさしく

ニャンハウ

かしこく

トンミン

たくましく

ホーエマイン



校長 佐藤之保

### 子供に「帰ることができる場所」を！

～生きるチカラ～

「皆さんの楽しい思い出は、何でしょうか？」

そして、今までで一番辛い時期を思い出し、自分がどうしてその辛さを乗り越えてくることができたのか？を考えてみてください。

そこには、「未来は今より良くなる」という漠然とした期待のようなものがあったのではないのでしょうか（無意識かもしれませんが）？

では、その「期待」はどこから来るのでしょうか？

それは、過去の楽しい思い出からくる場合が多い、と思います。

特に幼少期の、楽しい思い出・人の笑顔・人と人とのつながりを感じた思い出は、心の「未来への信頼」につながり、自分が帰るとホッとする「帰ることができる場所」になっていきます。

そして、一番初めの質問に戻ります。

「皆さんの楽しい思い出は、何でしょうか？」

それが今の皆さんの「生きるチカラ」になっているのではないのでしょうか。

では、子供たちがそんな「帰ることができる場所」を作るために、周囲の大人としてはどうしたらいいのでしょうか？

子供の御機嫌を取って叱らないことでしょうか？ それはきっと違います。御機嫌を取るのには、子供の人格を大切にしているとはいえないからです。駄目なものはしっかり子供のために叱ることは大切なことです。

それよりも、大人が「この子がいて良かった」と本気で思える時間を長くしたり、子供の関心事に興味を持って「子供の話をよく聞く」ことをしたり、そんなことが大切な気がします。多くの大人たちがそんな環境を作れば、子供たちはその中で、人の温かさを感じ、楽しい思い出をたくさん作っていくのではないのでしょうか。

そして、他人についての事も、周囲の大人の他人への噂話や悪口の中で育つよりも、相手をなんとか理解しようと相手の事情を考える会話の中で育っていけば、「周囲への信頼」が育ちやすく、その子の「帰ることができる場所」を作ることにつながると思います。

子供の「帰ることができる場所」を作るには、御家庭の役割は特に重要です。そしてその役割を果たすには、私たち大人のメンタルコントロールをする力が重要です。

大人が自分を責めず、自分の気持ちにも子供の気持ちにも寄り添い、子供と一緒に本気で楽しめるものを探してみることがとても大切な気がします。

ぜひ、探してみてください。